

株式会社リュウクス

沖縄県うるま市

生産性向上

需要獲得

担い手確保

ものづくり

サービス

ポイント

「成長するコンクリート」で社会的価値と経済的価値を同時に追求し、豊かな社会を実現する

- 塩害からコンクリートを守って、美しく強く長持ちする 100 年コンクリートを実現
- 加熱改質フライアッシュ製造装置の性能向上を図り、3 件の特許を取得
- 台湾を足がかりに、加熱改質フライアッシュ製造装置の販路拡大に向けて展開中

企業基本情報

所在地	沖縄県うるま市字州崎 7 番地 22
電話 / FAX	098-939-1181 / 098-939-1180
URL	http://www.ryux.co.jp
代表者	代表取締役 謝花 一成
設立	2012 年
資本金	5,570 万円
従業員数	9 人



会社概要

石炭火力発電所から排出される「フライアッシュ」を原料に、あらゆるコンクリート構造物に利用可能な「加熱改質フライアッシュ」の製造・販売を行う。

製造装置および製造方法に関する技術の開発を進め、特許を取得。国内外で増え続けるフライアッシュの処理問題と、コンクリート構造物の劣化問題を同時に解決する、全く新しい事業モデルに取り組む。



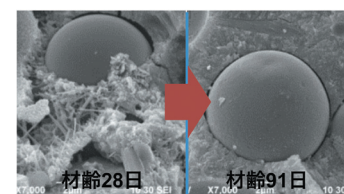
会社外観

革新的な製品開発や創造的なサービスの提供に関する取組の内容

》》美しく・強く・長持ち 100 年コンクリートを実現

同社のコンクリート混和材は、コンクリートの性能にさまざまなメリットを発揮。美しさが続き、強度が高まると同時に、コンクリート建築物の弱点である鉄筋を錆びから守り、超寿命・高耐久を実現。

フライアッシュの粒子が、セメント水和反応時の成分と化学反応を起こし化合物を生成し、コンクリート内部の組織が緻密化。これにより、通常のコンクリートに比べ長期に渡り強度が増進すると同時に、外部からの劣化因子の侵入を防ぎ、耐久性が年月と共に大きく向上。



コンクリートの内部写真。化学反応（ポズラン反応）により、組織が緻密化

》》加熱改質フライアッシュ製造装置の性能向上

燃料コストを抑え、生産能力を向上させた加熱改質フライアッシュの製造装置を開発。新たな製造装置（加熱改質装置）は、高周波で製造炉内の温度を引き上げ、酸素を送り込むことで、未燃カーボンが自ら燃える仕組みになっている。従来に比べ、燃料費が 1 / 3 になり、生産能力も 2 倍に上昇。

コンクリートや補修材等の用途毎に、粒径を分別する分級装置は、独自のサイクロン技術にて分級。これにより粒子の細かさが 2 割向上。



新型製造装置ラボ機

》》台湾を足がかりに、販路拡大に向けて展開中

高品質コンクリート二次製品等の輸出可能性を図るべく沖縄総合事務局が設置した「フライアッシュ活用促進勉強会」に参加。アジア市場に強みを持つ台湾を足がかりに、販路拡大を目指す。本年 3 月に、琉球大学教授が団長を務めるミッションに参加し、台湾企業 4 社と面談。また、8 月に台北市で開催された「台湾・沖縄ものづくり連携セミナー」で海外展開の取組を紹介。9 月、中国「2017 廈門国際投資貿易商談会」、タイ・バンコク「Concrete Asia 2017」へ出展。



「2017 廈門国際投資貿易商談会」出展の様子